

年表

明治四十年四月

京都府立第五中学校設立の認可を受け、山中平吾氏より提供を受けた葛野郡花園村の現在地において建設工事に着手

三三・山城高百年の間の「いい話」

明治四十年（一九〇七年）京都市上京区の山中油店を黒紋付、袴姿の二人の府会議員が訪れた。

三三の建設をすすめていたが、敷地が不足だったので隣接する山中油店の所有地を売ってもらいたいと申し入れるためだった。

山中油店主の山中平吾があらわれたが、京華新報はその時の山中平吾を「垢の付いた着物に細い帯、風采の上がるぬ老人——と書いている。

山中平吾はフムフムと黙ってきいていたが、「真につまらぬ私たちの土地が公共のためになりますれば、この上もない幸福でございます」とボンと花園村（当時）の土地三千坪の無償提供を申し入れた。

昔の金持ちには真に大らかだった。

因みに山中平三（三三三十三回生）は山中平吾の孫である。

明治四十一年二月

京都府立第一中学校分校主任中野省吾校長に就任

明治四十一年四月

京都府立第五中学校開校式を挙行 生徒数三百二十三名（一年生九十七名、二年〳四年生生徒二百二十名余は京都府立第一中学

校分校廃止による転学生徒）各学年二クラス

ス計八クラスで発足

五中開校の経緯

明治三十二年中学校令、中学校編成及び設備規則の改正が行われた。この改正が本校に制度上の多大の影響を与えた。その一つが第二中学校の設置であった。規則の第一条「一学校ノ生徒ハ八百人トス。一分校の生徒ハ三百人以下トス。」と定められたことがある。

これによって、第二中学校（現鳥羽高校）の建設が府令で決定された。校長には、第一中学校の首席教諭が任命された。

明治四十一年分校を廃止した。それは府立第五中学校の創設の措置であった。初代校長には、分校主任をつとめていた中野省吾が就任した。

「京一中・洛北高百年史」より

明治四十三年一月 寄宿舎竣工

大正二年四月 全校合わせて十五クラスとなる

大正三年三月 同窓会創立（校長が同窓会長を兼任）

大正四年一月 軍国記念事業としてのグラウンド改修工事竣工

大正五年十月 大正天皇即位式記念図書館竣工

ある時期の三中制服

三中の制服は海軍式で、丈の短い五つボタン。冬は濃紺、夏は白。ゲートルも靴にぐるぐる巻き付けるものではなく、幅広の布製のものをホックで止める方式。ズボンのポケットはおしりの二つだけで横ポケットはなかった。これは中野校長が発案したもので、横ポケットに手を入れると姿勢が悪くなるというのがその理由。女学生によくもてたとかで、この服にあこがれて入学した人も。

「読売新聞『旧制中学の系譜』」より

大正七年四月

文部省告示により京都府立京都第三中学校と改称（一中は京一中、二中は京二中、三中は福知山中、四中は 宮津中となる）

大正七年十二月

雨天体操場竣工（天皇即位式建物を一部移築）

学校行事 《ウサギ狩りは人気行事》

三中ではクラブ活動とは別に学校行事も盛んだった。創立当時から始まった賛（にえ）崎海岸（津市）での夏季水泳訓練がまだ続いていたし、冬には全校あげてのウサギ狩りも開かれた。ウサギ狩りはとくに三中生の人気を集めたようで、この思い出を語る人は多い。

……狩りは鳴滝や松ヶ崎、岩倉などで行われ、山の頂上あたりを網を張って上級生が待ち、下級生が山すそから喚声をあげながらウサギを追った。「とれるのはせいぜい二、三匹だった」……

『読売新聞『旧制中学の系譜』』より

大正十一年十月

校長中野省吾逝去 学友会・同窓会共同で校葬を行う

大正十一年十一月

藤森勝郎校長に就任

大正十二年四月

陸軍現役将校配属令により、学校教練のため陸軍将校配属される

大正十四年九月

新学期より毎週月曜日第一時限目に朝会実施が定められる

昭和二年七月

上級学校進路実現のため夏季補習がはじまる やがて冬季にも行われるようになる

昭和三年十二月

昭和天皇即位記念として、中野省吾校長の
胸像除幕式を行う

昭和四年四月

御真影奉安庫（天皇・皇后の写真を安置す
る施設）竣工式を行う

昭和五年五月

昭和天皇即位記念歴史館竣工（即位式建物
の一部を移築）

昭和五年九月

誠実・剛健・進取・協同の四綱領を制定し
生徒に公示

昭和六年四月

本校所在地京都市に編入され、正門の位置
により、右京区花園馬代町となる

昭和七年一月

校歌制定（歌詞は生徒・教職員・同窓会よ
り公募し委員会で作成、曲は東京音楽学校
教授信時潔が作曲）

昭和八年三月

寄宿舎廃止

昭和八年十二月

創立二十五周年記念誌発行

昭和九年九月

プール（同窓会寄贈）・同スタンド（父兄
会寄贈）竣工

昭和十一年三月

京都府立京都第三中学校夜間中学創立

昭和十二年三月

体育館、生徒控所、武道場竣工

昭和十三年七月

三階建校舎改築工事起工

昭和十四年十二月

三階建校舎竣工

昭和十八年四月

夜間中学を京都府立双陵中学校と改称

昭和十九年十二月

愛知県半田市に学徒動員されていた四年生約二百五十名のうち十三名が東南海地震の犠牲となる

昭和二十一年四月

藤森勝郎校長離任、川瀬章一氏校長に就任

昭和二十二年四月

川瀬章一校長離任

昭和二十二年五月

幸村法輪校長に就任

昭和二十三年三月

職員会議において新校名を山城高校と決定される

昭和二十三年四月

学制改革により、京都府立京都第三中学校を京都府立山城高等学校、双陵中学校を京都府立双陵高等学校として発足

昭和二十三年十月

山城高等学校（全日制）に、総合制（普通科・商業科）、男女共学制、通学区域制を実施して再編成し、双陵高校に男女共学制を実施し、山城高校定時制とする。高等学校再編日の十月十五日を開校記念日とする
幸村法輪校長離任、佐竹大鑑氏校長に就任

新制高校として出発

『開校式で全校の“和”強調』

十月十五日の山城高校開校式で佐竹大鑑校長は、「私たちは、きのうまでお互いに知らなかった者同志です。しかし、今日からは、友として、勉学にスポーツに、学園生活に、互いに意義を見いだしてがんばりましょう。」

山城高校は三中の輝かしい伝統を引き継いで発足しました。三中の伝統を基礎にして、新しい校風樹立に努力しようではありませんか。ただいまから新しい山城の歴史が始まるのです。開拓者の意気、協力と責任の意義をわきまえ、ことを成すにはまず“和”をもつてあたるようにしましょう」と全校の和を強調した。

『昭和五十六年一月夕刊京都』より

昭和二十三年十月 男子バスケットボール部第三回国民体育大

会優勝、第一回全日本高校選手権大会優勝

昭和二十五年十二月 佐竹大鑑校長離任、小泉義兵氏校長に就任

昭和二十七年九月 旧武道場を移築して、商業実践教室、普通

教室とする工事竣工

昭和三十年九月 京都市北区の新設に伴い、本校所在地は現

在の地名となる。

昭和三十一年三月 小泉義兵校長離任

昭和三十一年四月 高乗勲氏校長に就任

昭和三十三年三月 四階建本館改築第一期工事起工

昭和三十二年十二月 第一期工事本館竣工

昭和三十三年三月 三階建理科教室改築第二期工事起工

青年の像



青年の像

青年は高い知性と深い友情とを持たねばならぬ。内省にもとづく勇気とすこやかな心身とをもって前進しよう。

第十五回卒業を記念して山崎正義氏作のこの像を母校に贈る
昭和三十八年三月一日第十五回卒業生一同「青年の像」碑
文より

昭和三十三年八月 男子バスケットボール部第十一回全日本選手権大会優勝

手権大会優勝

昭和三十三年九月 第二期工事竣工、京三中・山城高同窓会寄

贈の正門竣工

昭和三十四年一月 サッカー部第三十七回全国高校選手権大会

優勝

昭和三十四年三月 高乗勲校長退職

昭和三十四年四月 秋山羊一氏校長に就任

昭和三十五年十月 サッカー部第十五回国民体育大会優勝

昭和三十七年四月 パイプ普通教室竣工

昭和三十七年十月 男子バスケットボール部第十七回国民体育

大会優勝

昭和三十八年三月 「青年の像」卒業生寄贈

昭和三十九年三月 木造教室増築竣工、鉄筋三階建便所竣工

昭和四十年三月 秋山羊一校長離任

昭和四十年四月 山崎秀雄氏校長就任

昭和四十二年三月 山崎秀雄校長離任

昭和四十二年四月 小林芳夫氏校長就任

昭和四十四年三月 新体育館兼講堂竣工、同窓会より大綴帳を

寄贈

昭和四十五年三月 小林芳夫校長離任

昭和四十五年四月 河原寛氏校長就任

聴覚障害教育について

昭和四十年代小・中学校で聴覚障害をもつ児童・生徒の受け入れが始まり、聴覚に障害をもつ児童・生徒は、一般の小・中学校で教育をうけることができるようになりました。

「高校にも難聴学級を」という請願が府議会・府教育委員会で採択され、昭和四十六年山城高校に聴覚障害生徒をうけいれることが決定されました。

山城高校では全日制・定時制の各課程に専任教諭を配置し、初年度全日制二名、定時制六名の生徒を受け入れました。

一般の高校で制度的に聴覚障害生徒を受け入れたのは全国で初めてでした。

昭和四十六年四月 全日制・定時制に聴覚障害生徒受け入れ開始
昭和四十九年三月 河原寛校長離任

昭和四十九年四月 馬淵一夫氏校長就任

昭和五十二年三月 馬淵一夫校長離任

昭和五十二年四月 吉谷源太郎氏校長就任

昭和五十三年九月 創立七十周年記念式典（同窓会と共催）

昭和五十四年二月 校舎改築のために工事現場調査中に平安初期寝殿造りと考えられる遺跡発見

昭和五十五年三月 西校舎（四階建）竣工

昭和五十五年三月 吉谷源太郎校長離任

昭和五十五年四月 加藤治氏校長就任

昭和五十六年三月 北校舎（三階建）・食堂棟竣工、格技場改築、

プール移築竣工

昭和五十七年三月 加藤治校長離任

昭和五十七年四月 鈴木集蔵氏校長に就任

昭和五十八年三月 青年の像改修（同窓会寄贈）

昭和六十年四月 高校教育新制度発足し、市内・乙訓地区は

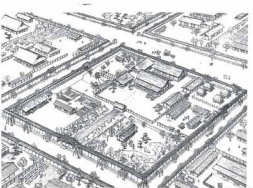
東西南北の四通学圏が設置され、普通科は

I類学力充実コース、II類学力伸長コー

ス、III類個性伸長コースがつくられる

本校には普通科I・II類が設置され、商業

科は募集停止となる



校庭地下に眠る平安初期の寝殿造り遺跡（歴史部生徒が調査）

当時の新聞は「邸宅の主はダレ？山城高生が大研究」の見出しで、「遺跡は昭和五十四、五十五年の発掘調査でみつきり、平安京造営時の貴族の邸宅と判明。内裏を模した配置の貴重な寝殿造りで、遺跡に興味をもったメンバーが顧問教諭の指導で邸宅の主探しに乗り出した。」と大きく報道されました。

遺跡は京都府指定の史跡第一号に指定され「平安京右京一条三坊九町遺跡」と呼ばれています。

歴史部生徒は調査を「校庭に平安の夢を見た」と題する冊子にまとめました。

昭和六十一年三月 校旗新調（卒業生寄贈）、京三中旗復元（同窓会寄贈）

昭和六十一年三月 鈴木集蔵校長離任

昭和六十一年四月 北村晋氏校長に就任

昭和六十三年四月 体育振興施設竣工

昭和六十三年八月 全国高校ボート選手権大会女子舵つきフオ

ア優勝

昭和六十三年十二月 校門改修（同窓会寄贈）

平成元年十二月

コンピューター教室設置

平成二年三月

グランド改修工事完了

平成三年三月

北村晋校長離任

平成三年四月

森貞男氏校長に就任

平成四年三月

森貞男校長離任

平成四年四月

森實氏校長に就任

平成六年三月

緑化・景観整備事業により校門前改修工事完了

平成六年三月

森實校長離任

平成六年四月

山口忠夫氏校長に就任

平成六年五月

東南海地震の犠牲者を悼む「紅燃（こうねん）」碑除幕式を行う

平成八年三月

山口忠夫校長離任

平成八年四月

小林暉彦氏校長に就任

平成八年八月

ＬＬ教室改修並びに機器更新

平成九年四月

定時制募集停止

平成九年五月

創立九十年記念として開校当初の「校門・

本館風景」銘板を旧正門前、上ノ下立売通

に面し設置



紅燃碑

紅燃碑記念行事に向けて、在校生へのメッセージ（抜粋）俳優 優田村高廣さん（三中三十七回卒）

嘗て太平洋戦争中、吾々は勉強さえも思うに任せず、人命を奪う道具作りに専念。これこそ吾等が本分と、若い血を燃やし続けておりました。その結果十三名もの学友が尊い若い命を失う事になってしまいました。

併し、この碑銘は単に亡き友を偲ぶただけのものではありません。これは吾々の悔恨をこめた皆さんへの切なる願望であります。

如何なる立場に在る者も、国の内外、彼我の別なく、人命を第一に考えて、夫々の人生を歩んでいって貰いたいものです。

尊い生命を護るために、皆さんの紅の血を鮮烈に燃やし続けてほしいのです。

平成九年八月

平成十年四月

平成十年十月

平成十年度インターネット接続等情報教育
充実に向けてコンピュータ機器の更新
藤井隆至氏校長に就任

新校舎建築のための埋蔵文化財調査、四脚
門遺跡が発見される



校門・本館風景

創立九十年を
記念し、ここに
開校当初の正門
と、本館と、昭
和十五年頃と同
じ校門・本館風
景を昔を忘れた
ために、銘板
として建てる

平成九年五月
二十五日
京三中・山城高
同窓会

へいあんきょううきょういちじょうさんぼうきゅうちやういせき
平安京右京一条三坊九町遺跡

涼やかな風が吹き抜けるこの場所に、平安時代前期（9世紀初頭頃）に門が建っていたことが、平成11年の発掘調査でわかりました。

この門は、その北側に大規模な邸宅（府史跡・平安京右京一条三坊九町遺跡、昭和55年調査）があり、周囲を塙で囲まれた一辺約120m四方の邸宅の南門にあたります。案内板前方の床に表示した計6か所に穴を掘り（楕円形部分）、そこに直接柱を立てた（円形部分）、西園門と呼ばれる形式の掘立柱建物でした。

平安時代前期の遺構が確認されたことは貴重であり、この門跡も邸宅と同様に地下に保存されました。

改めて、門を出入りする当時の人々の様子を想像してください。

平成13年12月

京都府教育委員会



四聖門想定圖



四聖門



屋敷地想定復原図

平成十二年三月 定時制課程閉制

閉校記念式典

本校は、昭和十一年三月創立され、以来六十四年の長きにわたり勤労学徒の学び舎として明かりを灯し続けてまいりました。

この間、おおらかで開達な校風を築き、四千名にも及ぶ有為の人材を輩出してまいりました。数々の業績を重ねてきましたが、今、勤労青少年の教育という重要な使命を終え、輝かしい歴史の幕を閉じることになりました。本校に学ばれた同窓生各位の母校に対する限りない愛情の念を思うとき、感慨ひとしおのものがあらります。

「記念式典藤井校長挨拶」より

平成十二年三月 藤井隆至校長離任

平成十二年四月 土山喜英氏校長に就任

平成十三年十二月 本館（管理棟・教室棟）竣工

平成十五年三月 憩の広場完工、仮グラウンド完工

平成十六年三月 土山喜英校長離任

平成十六年四月 橋本陽生氏校長に就任

平成十六年七月 新体育館竣工（格技場・屋上テニスコート）

平成十六年九月 新体育館大縦帳新調（同窓会寄贈）

平成十七年九月 山城高校改築完了竣工式

平成十八年五月 京三中・山城高創立百年記念式典を宝ヶ池

国際会議場で開催、同記念誌刊行